

# 宝塚運行サービス株式会社の巻 (習志野市)



▲前田洋子副社長

忙のところ貴重な時間をちようだいし、取材を始めることとなりました。

## 取引先のニーズに柔軟に対応し、社員のために福利厚生等を充実

同社は昭和五十七年十二月に設立され、当時は従業員三名で貨物運送をスタートされました。昭和五十三年に開港した成田空港のその後の拡張時に空港貨物地区内に営業所を構えられ、IT関連商品、生花、ワインや食材などの空港貨物を各地に配送しています。燃料費の高騰や運賃競争の激化する運送業界において、

同社では、さまざまな分野の貨物配送に適した車両を導入することにより、取引先のニーズに柔軟に対応されてきました。

次に、コスト管理や社員教育について伺いました。同社では、「ドライバー安全会議」を月に一度実施し、安全運転を徹底しているそうです。そのほか、コスト抑制への取り組みについては、「社員一人ひとりが、アイドリングストップなどを率先してコスト抑制に努めてくれているので、感謝している」と前田副社長はおっしゃられました。

前田副社長は、「昨年から続く世界同時経済不況により貨物の取り扱いは減少しており、厳しい経営が続いています。社員一丸となって苦境を乗り越えていきたい」と力強くおっしゃられました。

ちなみに、同社の社名は、社長の出身地である兵庫県宝塚市から命名されました。同社の社員は若い方が多く、また、野球経験者も多いことから地元の野球大会に参加することもあり、その成果が発揮されたのか、今年度の当健康組合の「軟式野球大会」で初優勝を飾りました(一六頁参照)。

また、会社主催でゴルフコンペを年三回程度開催するなど、積極的に社員の健康増進や親睦(しんげく)に取り組んでいます。

また、会社主催でゴルフコンペを年三回程度開催するなど、積極的に社員の健康増進や親睦(しんげく)に取り組んでいます。

社(前田副社長)の倉庫兼車庫である芝山配送センターにお邪魔しました。

私たちが訪問した芝山町は、昭和三十年七月に二川村と千代田村が合併して誕生し、千葉県の北東部北総台地のほぼ中央に位置しています。この地域は、古墳時代の埴輪(はにわ)などが出土し、その多くが展示されている「町立芝山古墳・はにわ博物館」や航空科学に関するさまざまな資料、実際に利用されていた飛行機などが展示されている「航空科学博物館」が有名であり、歴史と文化を感じることもできる街です。

本日の目的地は、東関東自動車道・富里ICからほど近いところにありました。「こんにちは健康組合です！」と事務所を訪ねると、前田副社長に笑顔で迎えていただき、ご多

た。

その背景には、ベテラン社員がリーダーシップを発揮し、安全な運転指導、車両整備や管理に励んでいることが挙げられます。今後は、社員育成のいっそうの強化とともに、デジタルコ(デジタルタコグラフ)運行管理システム)の導入も検討し、さらなる経営の効率化を図っていききたいということでした。

## 何よりも社員の健康が第一に

前田副社長にふだんから取り組ん



▲出発を待つ宝塚運行サービス(株)のトラック

でいる健康への意識について伺うと、ご自身の健康のことより先に、「毎日社員の体調や顔色をチェックしています。仕事も大事ですが、社員の健康が第一！」と断言されました。みずからも習志野市から各営業所を往復する毎日を送っておられ、肉体的にも負担が多いなか、社員の健康を第一に考えられる前田副社長の優しさに、私たちは感服させられました。

ご自身も健康への意識が高く、週一回プールに通われて汗を流しています。また、趣味はゴルフをすることと、月に数回ラウンドすることもあり、大会で優勝したこともある腕前だそうです。

リフレッシュできる時間は、「家族や友人とのんびり温泉や海外旅行に行くとき」と答えられました。また、ふだんからあぶらっこいものをできるかぎり避けるなど、食生活にも気をつけているということでした。

前田副社長が取材中に幾度となくおっしゃられたのは、「社員が毎日頑張ってくれているので、私は明るい職場づくりに努めることができま

事はもちろんのこと、プライベートも充実することだと思いますので、同社の笑顔の絶えない職場づくりをこれからも応援するとともに、私たちも見習っていききたいと思いました。

☆☆☆☆

いただきました。その言葉に甘んじることなく、加入している方々のための「組合づくり」をめざしていきたいと思います。あつという間に予定の時間を迎え、終始、前田副社長の笑顔が印象的な取材でした。宝塚運行サービスの皆さん、ご協力ありがとうございました。

心身ともに健康でいることは、仕